

② 葉っぱの巻き物？

初夏のこもれびの丘^{おか}などを歩いてみると、木の葉が途中から切れて、クルクルと巻いたような状態になってぶら下がっているのを見かけることがあります。時には、このクルクルとした部分が地面にいくつも落ちていることもあります。なぜこんな状態になっているのでしょうか？



- ①切れると巻く性質がある葉だから
- ②クモが葉を貼り合わせたから
- ③昆虫が葉を巻いたから

答えを考えてみましょう。答えが決まったら、このセルフガイドの裏側を見てみてください。

園内で気になる葉っぱを見つけたら、どんな形かスケッチを描いておきましょう。

後で種類を調べるヒントになりますよ♪

【MEMO】

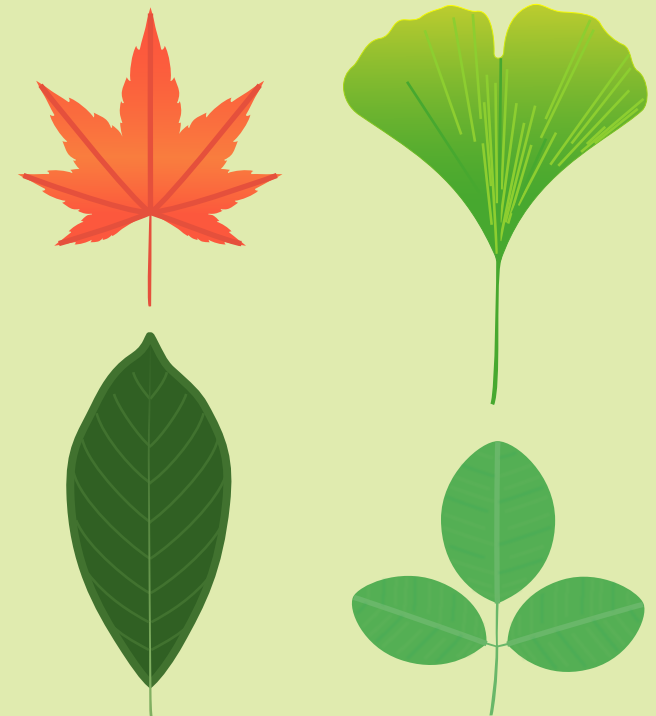


公園からのおねがい

- ・園内の生きものは採取したり、持ち帰らないようにしましょう。
- ・花畑や花壇、柵で囲った場所は入らずに観察しましょう。
- ・スズメバチに出合ったら、立ち去るまで待ちましょう。



葉っぱで大発見



植物の葉っぱは種類ごとにいろいろな形をしています。

その形には、それぞれの植物ごとに理由があります。

今日は植物の葉っぱを楽しみながら園内を歩いてみませんか？

葉っぱの形は だれが決めるの？

植物の葉っぱの多くは、生きるための栄養を作る「こうごうせい光合成」という仕事をします。太陽からの光のエネルギーで、にさんかたんそ二酸化炭素を吸収、きゅうしゅうさんそ酸素を出してとうぶん糖分を作ります。葉っぱの形は、光合成をしやすくするために植物が決めています、他の生きものによって形が変わることもあります。

① 葉っぱの形で性格診断？

下の葉っぱはA～Dのどのタイプでしょうか？
葉っぱの形を見ながら考えてみましょう。



ギザギザの
ある薄い葉



切れこんだ
薄い葉



ギザギザの
ない厚い葉



羽根の形の
薄い葉

- A：世渡り上手型…安定した環境が好き。
トラブルを避けるのが上手で社交性が高い。
- B：効率重視型……効率やスピード重視で器用。
長続きはしにくい。
- C：メリハリ型……働く時はよく働き、休む時は
しっかり休む。ウサギとカメならウサギ派。
- D：大器晩成型……地道にコツコツ休まず働く。
最終的に大きく育つ。カメ派。



1 生きるための工夫が形に表れる

葉っぱの形には、こうごうせい光合成のためや他の生きものから身を守るなど、さまざまな工夫が表れています。

C



ギザギザの
ある薄い葉
ケヤキ

A



切れこんだ
薄い葉
イロハモミジ

D



ギザギザの
ない厚い葉
クスノキ

B



羽根の形の
薄い葉
ナンテン

- A：切れこみで葉の周囲の空気が流れ二酸化炭素を取りこみやすい。下の葉にも光が当たる。
- B：広い面積に一気に葉を広げる。葉の角度調節を一緒におこなって光を得る効率を高める。
- C：ギザギザで葉の周囲の空気が流れ二酸化炭素を取りこみやすい。薄い葉は冬に落葉する。
- D：長持ちする厚みのある葉で一年中光合成。葉を単純な形にしてコストカット。



2 昆虫が葉を巻いたから

他の生きものが葉っぱを利用することで、不思議な葉っぱの形がみられることがあります。クルクルと巻かれた葉は、オトシブミの仲間の昆虫が作ったものです。オトシブミの仲間が巻いた葉は「揺籃」と呼ばれます。中には卵があり、卵から孵った幼虫は、揺籃の中の葉を食べて育ちます。エゴノキでは、エゴツルクビオトシブミなどの揺籃が見られます。



エゴノキ



大きさは6～7mm

エゴツルクビオトシブミのメス